

hed, -peit], n. のろま。
 ed, a. 愚鈍な、のろまな。
 'ad-dress [ədres], n. ① 話しかけ、演説、請願、提案。② 住所、所番地；あて先。③ 応対、話しぶり。④ 手ぎわ、巧妙。⑤ 愛、くどき。⑥ 【法】 判事解任要請。⑦ the A- (イギリス議会の) 勅語奉答文。funeral 弔辞。opening [closing] ~ 開〔閉〕会。change of ~ 住所変更。man of good 応対のじょうずな人。address book 住所録。give [deliver] an address on ~ に関して演説する。inaugural address 就任演説。one's addresses to ~ 某の演説。～に求める、求婚する。with ~ 共に。～に。よく。
 —, vt. ① 話しかけ、演説する。～を出す。② 言い寄る、くどく。～宛てる。④ 従事する。⑤ 述べ、請願する。～ her as Mary (彼女を) Mary として呼ぶ。

ADDRESS VOICE

No.47
2019.2.14

【葱坊主の頭かすめる春一番号】

株式会社 アドレス 〒921-8147 金沢市大額 1-342-3 《TEL》 076-298-8585 《URL》 <http://www.adrs.co.jp> 《Email》 office@adrs.co.jp

編集・発行人 大野優子

制作一筆箋 第6回

金の孫の手

制作部・大野

アドレスボイスを作っていると、普段目にする紙媒体というのは、これほど多くの工程を経て、たくさんの人の手と目を経て、世に出回っているのだなあとしみじみ思うことがあります。

その号のテーマを決め、テーマに沿って原稿の執筆を依頼し、集まってきた原稿を校正し、紙面に合わせて文字数を調整し、時には内容の差し替えをお願いし、限られた紙面に割り付けていきます。目を血のようにして誤字脱字をつぶし、何度もテスト印刷を重ねて色校をして、いざ本番と印刷すると、なぜか色が微妙に違うとか、まさかの表題に1文字誤字が残っていたとか、あったはずの枠が消えているとか、毎度毎度大騒ぎです。

弊社の主力商品であるテープおこしは、この工程でいうと、原稿のそのまた前の段階であることがほとんどで、時に印刷の一手前の段階までお任せいただくこともありますが、基本的には中間商品です。中間にいる私たちだからこそ、その前後にできるだけ手を伸ばし、想像力を働かせ、かゆいところに手が届く、そんな成果物の作り手でありたいと願っています。

早歩き亀 第1回

ぐるんぱのようちえん

制作部・亀村

年明け、娘が2歳の誕生日を迎えました。思えば昨年のごろ、金沢は近年まれに見る大雪。あのとき娘はまだ雪の感触を知りませんでした、この冬は登園時も「あるくー！」と言って元気に歩き出します。

先日は、娘が人生初の表現会に参加したのですが、他の年齢児の出し物で「ぐるんぱのようちえん」という絵本を題材にした劇があり、印象に残りました。

主人公「ぐるんぱ」は大きなゾウです。ものを作ることが大好きで、いろいろな仕事場で一生懸命働きます。しかし、ビスケット屋さん、靴屋さん、車屋さん…と、作るものがどれもゾウ仕様の大きさのため、どこで働いても「もう結構」と言われる始末。そうしているうちに、子どもさんの一家と出会い、自分が作った大きなもので子どもたちが存分に遊べる環境をつくることができ、ハッピーエンドを迎えるというお話です。

どこかの国の現実世界とオーバーラップしそうなストーリーです。まずはお客さまのニーズの把握が大事だろうとか、大人目線でいろいろ考えるのですが、何よりも大事なのは「ぐるんぱ」が誠意をもって働いていなければハッピーエンドを迎えていなかったらということなんです。

表現会からの帰り道。達成感を抱きながら、ようやく積もった雪を一步步踏みしめる娘の手を引き、また明日から頑張ろうと思いを新たにした冬の日でした。



ぷくぷく通信

代表取締役 中山雅美

Puku Puku Greetings

「クレームに学ぶ」とあまた言われてはいますが、制作物に対してお客様からご指摘やお叱りを頂くと、制作担当者以上に、私がまずは落ち込んでしまいます。会社の陣容が少しずつ大きくなり、手を離している部門がある今では、お客様からの率直な反応が、自分たちの航路の妥当性に納得するただ一つ材料だからです。

直面する事象に対応しつつ、類似事例の発生がこれまでもなかったか。顕在化しなかっただけで、私たちが気がついていないことを、ぐっと我慢されたのではないかな。そっと離れてしまったのではないかな。と心が乱れます。クライアントの声に耳を澄まそう。なかなか聞こえてこないから、わずかに聞こえてきた声を大切にしよう。「ああ、お客様をがっかりさせちゃった」

どこでバトンが落ちてしまったのか、何が流れてしまったのか、当事者たちの話を聞きながら、一歩でも二歩でもクライアントの心情に近づけるよう、今の事象が彼らの胸のどこかにきちんと収まったかを見定めたいと思っています。他責から自責に移り変わる一瞬の表情から。

気がつけばカレンダーを一枚めくる2月になっています。

雪が降り、豆が降り、梅が咲き、猫もなく。

日暮れが遅くなり、北陸の夕刻も日に日に明るくなってきます。

入社1年たった社員が机に座る形から、最近少し自信が伝わってくるし、入社3カ月の新人もやっと一つのマイルストーンをクリアできそうだし、テレワークのメンバーも止まることのない成長をしてくれているし、うれしいこともたくさんある今です。そして、「繁忙期後半」の2月3月、たくさんのいい仕事をして実りの春を皆で謳歌できるように頑張ります。今年も営業部主催の80メートル先の公園でのランチ花見が待っていますので。



各部署の取り組み紹介

何事も段取り八分！
全ての工程で
「お客様のために」
を考えています



アドレスのテープおこしは、研究素材から記録用、印刷用まで、さまざまな最終用途に使われています。受注から納品まで、お客様の用途にぴたりとはまるデータを提供できるよう、各部署のスタッフがいろいろなことに気をつけて仕事に取り組んでいます。

仕様の打ち合わせ

テープおこしの仕事は入社するまでなかなか想像しづらく、入社してもこれってこういうことか！と仕事の内容をつかむまで結構な時間がかかりました。仕様ひとつとっても、整文仕様？標準仕様？要約仕様？話し言葉仕様？と「？」がいっぱいでした。アドレスにとっては「当然」のことも、入社したころの自分には「へえ～」の連続でした。

以前からお付き合いのあるお客さまは「いつも通りで」とお電話1本、メール1本でご発注くださることも多いのですが、初めてご相談いただく方は、録音した音声以外に何を送ればいいのか、音声ではなく映像でもいいのか、納期は通常どれくらいかかるのか、こんなお願いはできるのかと、かつての自分のように「？」だらけでしょう。そんなお客さまに、「？」だらけだった自分にも伝わるようにと考えながら、丁寧に話しているようにしています。

これからも初心に立ち返りながら、皆さまのご質問やリクエストにお応えしますので、な～んでもお気軽にご相談ください！

営業部 松本

立会録音サービス（国際会議）

ここ数年、英語ベースの国際会議で立会録音の担当をさせていただくことが増えています。臨席時に気にしているのは、参加者それぞれのお国なまりです。日本人は日本語なまりの英語になりますし、フランス人はフランス語なまりの英語になりがちです。もちろん英語を母語とする方にもお国なまりがありますので一口に英語と言っても様々です。国際会議で飛び交う英語は、一般的に想像されているよりもずっとバラエティに富んだ「英語」になっています。

そうした国際会議に臨席する際には、「各地域の発音癖に慣れる」ことを心がけています。立会録音では発言者を特定することも重要な業務ですが、世界各国の方々が集まる会議は参加者も多いため、発言者を目視で特定するのにも苦労です。発言は流れ去っていきますので、その場で即座に発言者を特定しなければなりません。そんな時、インドなまりや韓国語なまりと分かれば発言者の見当を付けられることがあります。発音の癖も発言者特定の重要なキーになるのです。

以前はなまりの少ない英語を「きれいな英語」と思っていました、最近はなまりに助けられていることもあり、国際語としての英語はそれぞれのお国なまりのままでも味があっていいのではないかと考えています。

営業部 山田

発言者の特定

会議などのテープおこしでは、話者が複数いらっしゃる場合があります。アドレスでは、話者メモがない場合でも可能な範囲で話者特定をしています。話者特定のための情報としては、まず自己紹介、名乗り、指名がありますが、ない場合や、あっても冒頭だけの場合も多いです。そのときは、1回目の発言や、この発言は間違いなく〇〇さんのものと分かる発言を基準にしつつ、声質、話の内容、声の大きさ、さらに声が聞こえてくる方向などをヒントに特定していきます。恐らくレコーダーの位置がここで、このような順番で座っていて、このような声の特徴があるという図を書くこともしょっちゅうです。最初は全く分からなくても、先に述べたヒントを集めれば、「君の名は！！」となる瞬間が訪れることがあります。

ちなみに、より正確な話者の特定を求められる場合は、弊社スタッフが会議に臨席して話者を記録する「立会録音サービス」をぜひご利用ください。シリーズの会議を担当していると、お声を覚えていく方も増えるのですが、ずっと声だけで親しんできたその方に立会録音で初めてお目にかかる、頭の中で「前前前世」が流れ、ひとり感動しています。

TTL 制作部 菅原

要約文作成

私は制作部の中で、要約案件を担当するチームに所属しています。講演の要約であれば、お客さまからお預かりした、講演の際に用いられたスライド資料などに一通り目を通し、ポイントをかんたんに結論に向けて文章を作成していきます。会議の議事録作成であれば、前回議事録やお客さまのご要望を基に次第ごとの文字数を設定し、それに収まるように必要な発言を拾い上げていきます。いずれの場合も、発言者が最も伝えたいことが何なのかを常に意識しています。軸となる部分を意識することで、おのずとその文章は輪郭がはっきりとし、まとまりのある読みやすいものになります。また、読み手が一読で内容をつかめるような文章に仕上げるためには、リズム感も重要です。句読点の位置や語順にこだわることでリズムを付けて、読み心地のいい文章作りを心掛けています。

TTL 制作部 本吉

データ入力

DTI 事業部は、データ入力や印刷製本に関わる業務を行っており、特にデータ入力が主力です。気をつけているのは、お客さまの利用勝手の良い成果物をお届けすることです。データ入力というと、書かれた数字や文字を見たまま入力するだけのように思われがちですが、例えばアンケート調査では必ずといっていいほどイレギュラーな回答があります。択一の設問に複数回答が選択されていたり、生年月日と年齢が合致しない矛盾が回答されたり、設問の読み間違いによる誤記入もちょくちょくあります。

こうしたイレギュラーな回答は、たとえ設問の読み間違いに起因しているとしても、ローデータ（生データ）としての価値があるので、それを正確に反映することも、これはこれで大事です。一方、事前にイレギュラー回答の処理方法を決めておいたり、入力だけでなく回答の集計も依頼いただく場合は、事前に打ち合わせして対処します。納品後のご利用を見越してより良いデータを作成しますので、ぜひお気軽にご相談ください。

DTI 事業部 丸田

インプットとアウトプットをつなぐ

業務部は営業部と制作部の間に立ち、お客様からのインプットとアドレスからのアウトプットをつなぐ機能を担っています。到着した音声計測を丁寧に、おこし対象箇所の特定期だけでなく、当日資料が揃っているか、配席の関係でうまく声が録音されていない人がいないかといったことまで確認し、不足があればなるべく事前に把握して制作環境を整えることで、よりよい制作物をお届けできる準備をしています。また、国際会議や仕様が複雑な案件では、部署を超えてチームを組んで、事前に密に打ち合わせを行うことで、全員が同じベクトルで作業を進められるようにしています。

その中で、やはり大切にしているのはスピードです。近頃増えている特急案件を含め、次々にやってくる声に応えられるように、問口を広げているつもりです。もしも問題が起こっても、すぐに解決に向けて行動できるようにしていきたいと思っています。

業務部には最近、ピチピチの若手社員が入社しました。彼女の目標は「クレームゼロ」。計測に間違いがないか、お客様の要望が的確に制作工程への指示書に反映されているか、確実な仕事をするべく努力しています。少しずつ、でも着実に歩を進めています。業務部は直接お客様と接する機会は少ないけれど、社内の縁の下の力持ちとなってがんばっていききたいと思っています！

業務部 橋本・石田・小崎・川淵